

---

# 空港にて

かずてる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

「」のPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

空港にて

### 【著者名】

ZZマーク

### 【作者名】 かずてる

### 【あらすじ】

半熟、銅像、アタッシュケース。この三つのお題で掌編づくり。  
「三題斬」式のプロット・文体練習。

男のキスは、会いたくて会いたくて、もうそれしかない感じで。抱きかかえた女の顔に真上から舌を差し込んで、女の体はくでんと、男の膝の上に横たわる。

「オーギュストロダンですね」

社長は半分熟したドラゴンフルーツを天満に差し出しながら、スプーンを果肉に突っ込んだ。ロダンとは、かくも生々しい。ところで、このタオ・ラマンなる金満社長は、さらに生々しい。唇から粘液が垂れてる感じであり、この贋作ロダンの銅像とおんなじことやつたら、ジャバ・ザ・ハツトって怪物の親方みたいなのが、レイア姫をこう、舌でねぶるみたいのが想起される。

「で」

天満は問う。ジャバ・ザ・ハツトに。

「これや。見れ」

ぱかん開けたアタッショケース。中身は漫画版、風の谷のナウシカ。で、さらにジャバ・ザ・ハツトの指がナウシカをめくると、ナウシカの中身は精製麻薬一キログラムでした。末端価格で一億円。卸値九千万。

王国の空港にて。どうしようもなく血の氣の失せた山岳民族の少女を、天満が脇に手を添えてからうじて立たせる。自立できるのかと、ちょっと手を離して歩かせてみると、肩を押された死刑囚のようだが、なんとか自立歩行した。両脇腹に手術を施し一キログラム薬を埋め込み、大量にモルヒネを打つてある。ふらふらになつて当然。さらに、天満は思うのだ。こんな絶望的な仕事を引き受けてしまつこの少女の、山岳民族の、山岳民族の貧困につけこんでしまう自分の、麻痺。

ちょっと耳元で「たーちゅえ」とわれやいてみた。できるだけ少

女の心に響くように気持ちを入れて。これは、日本語で、「大丈夫」という、意味、です。少女は切なすぎる笑顔を唇の端に一瞬表現しようとし、顔が尋常でなく青白いので安らかな死に顔にしか見えないまま、税関の向こうへと消えていった。

一週間後。案の定、羽田税関にて少女逮捕、即入院。新聞で知った。タオの金満馬鹿。少女は一銭も得ることなく、退院し次第本国送還。日本の病院でかかつた莫大な治療費は山岳民族の貧困家族の家計ではまかないきれず、少女の兄は首都に出て日雇い者となり、少女の妹は売春、母親は結核にかかつて半年後に死亡。ありありと想像がつくではないか。天満はやり切れず、自分を捨てた祖国日本に呪い混じりの、じやりじやりしたセンチメントを、抱く。【了】

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3635m/>

---

空港にて

2010年10月9日21時27分発行